

地域の個性を活かす“流域ガバナンス”

関西広域連合は、流域のために何ができるんやろう??

気候変動や人口減少、私たちが暮らす琵琶湖・淀川流域にも次々と新しい課題が明らかになってきています。

最近の課題には、府県の範囲を超えた広域的な課題、ひとつの部局では対応できない横断的な課題が多くあります。

これまでの行政の枠組みや制度では、積極的に取り組んで来られなかった『はざまの問題』です。

流域のさまざまな方々と力をあわせて、『はざまの問題』の解決にも取り組んでいきたい。

関西広域連合は、関西の8府県4政令市が参加する設立6年の地方公共団体です。

広域行政の責任主体となることを目指していますが、独自に大きな権限・財源を持つわけではありません。

そんな関西広域連合が、琵琶湖・淀川流域の『はざまの問題』の解決にどのように貢献できるのか、考えていきたいと思えます。

日時 平成29年 **2月27日** (月) 13:00~17:15

会場 大阪府立国際会議場 12階 1202会議室
(大阪市北区中之島5-3-51)

基調講演 「日本文明と関西とエネルギー」

竹村 公太郎 さん 元国土交通省河川局長, NPO 法人日本水フォーラム代表理事, (公財)リバーフロント研究所研究参与

パネルディスカッション 「今、優先して取り組む課題を考える」 - 学術研究を流域政策に活かす

進行

中村 正久 さん

滋賀大学環境総合研究センター 特別招聘教授
琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 副座長

アドバイザー

竹村 公太郎 さん

元国土交通省河川局長
NPO 法人 日本水フォーラム代表理事
公益財団法人 リバーフロント研究所 研究参与

パネリスト

小林 健一郎 さん

神戸大学工学部市民工学科 准教授
(神戸大学 都市安全研究センター)

田中 賢治 さん

京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授

三橋 弘宗 さん

兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 講師

佐藤 祐一 さん

滋賀県立琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員

原田 禎夫 さん

大阪商業大学経済学部 准教授
NPO 法人 プロジェクト保津川 代表理事

山本 佳世子 さん

電気通信大学大学院 情報理工学研究所 准教授

シンポジウム 参加申込書

ふりがな 氏 名		
団体名		
住 所		
連絡先	Tel:	Email:

※ ご記入いただいた情報は、本シンポジウムの実施以外の目的には一切利用いたしません。

申込方法

参加希望の方は、上記申込書に記入のうえ FAX にてお申込みいただくか、同じ項目をご記入いただいた電子メールにてお申込みください。

申込締切

平成 29 年 (2017 年) 2 月 24 日 (金) 17:00

※定員になり次第締め切ります。その場合にはご連絡させていただきますので、ご了承ください。

申込宛先

関西広域連合 本部事務局 地方分権対策課 (問い合わせ Tel: 06-4803-5674)

Fax: 06-6445-8540 Email: biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp

プログラム

13:00~13:05	開会挨拶		
13:05~14:35	基調講演	日本文明と関西とエネルギー	竹村 公太郎 元国土交通省河川局長
14:35~15:05	研究報告	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 報告書概要	関西広域連合 本部事務局
15:05~15:15	(休憩)		
15:15~17:15	パネルディスカッション	進行 中村 正久 滋賀大学 特別招聘教授 今、優先して取り組む課題を考える	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 副座長

※出演者、プログラム等は、予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪) アクセス



所在地

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51

電車でお越しの場合

- ・京阪電車中之島線「中之島 (大阪国際会議場) 駅」(2番出口)すぐ
- ・JR 大阪環状線「福島駅」から徒歩約 15 分
- ・JR 東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約 10 分
- ・阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約 10 分
- ・大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線 1号出口・千日前線 9号出口) から徒歩約 15 分

※ シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」と JR「大阪駅」桜橋口の間で運行されており、ご利用いただけます (定員 28 名)

※ お車でご来場された場合は、1 時間あたり 500 円の駐車料金が別途かかります。